

科目	動物臨床看護学各論 I (飼育動物)		
担当講師 石井 実生 実務経験有 獣医師免許 大学卒業後動物病院に勤務 20年間獣医療に従事			
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科 1年次前期	講義	必修	30
授業目標 様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供するべきか、評価と介入の方法を修得する。			
授業概要 各疾病による身体的、精神的状況から適切な看護法を考察する。各疾病の特徴と急性、慢性などの経緯、個体情報の分析から看護に活かす。個体観察や飼主観察や飼主情報など様々な観点からの情報収集の必要性を理解できる。			
成績評価の方法 評価の基準は筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であることが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。			
教材 動物看護コアテキスト5巻 (ファームプレス)、動物看護実習テキスト (インターズー)			
授業計画 毎週火曜日 1限目 9:10～10:40 (A班、B班)			
回	テーマ	授業内容	
1	動物看護学概論	動物看護技術の要素について	
2	〃	〃	
3	動物看護者の倫理綱領	倫理綱領2009について事例を考えながら検討する	
4	〃	〃	
5	動物看護技術の基盤	動物看護を遂行する動物看護者に必要な技術について	
6	〃	〃	
7	動物看護技術 記録と報告	看護における記録の目的と報告について	
8	〃	〃	
9	症状別の動物看護 ～痛み～かゆみ～	痛みのシステムと意味、痛みのある時の看護を知る皮膚、疾患としてのかゆみとその看護について	
10	〃	〃	
11	症状別の動物看護 ～嘔吐～排便異常～	嘔吐と吐出の相違とその看護について 正常な排便と異常な排便について	
12	〃	〃	
13	症状別の動物看護～食欲不振～多飲多尿～	食欲不振の症状がある動物の看護について 多飲多尿の発症のメカニズムを知り、その看護について学ぶ	
14	代替日		